

# 環境活動レポート



対象期間 2024年度(2024年4月1日～2025年3月31日)  
発行日 2025年7月11日

## 山本リサイクル株式会社

# 環 境 方 針

## 基本理念

私たちは、人と地球環境に配慮した金属回収加工販売及び産業廃棄物処理業務を展開するとともに、各種リサイクル業務を推進し、地域やお客様から信頼される企業を目指します。

## 行動方針

- 1 事業活動を通じて、環境マネジメントシステムを構築し、環境活動を定め継続的に取り組めます。
- 2 事業活動に関る、下記の項目を環境目標と設定し継続的に改善を図り取り組めます。
  - ① 二酸化炭素排出量削減の為、化石燃料、電気使用量の削減に取り組めます。
  - ② 所有車両のエコドライブを実践し、燃費向上、排気ガスの抑制に取り組めます。
  - ③ 水使用量の削減に取り組めます。
  - ④ 当社から発生する廃棄物の削減、再資源化を徹底します。
  - ⑤ 受託した廃棄物は再資源化に取り組み、リサイクル率の向上を図ります。
- 3 産業廃棄物処理業としての環境への配慮を考えていきます。
- 4 油、廃液の周囲への流出を防止し、適正に管理していきます。
- 5 環境関連法規及び条例等を遵守していきます。
- 6 事務用品のグリーン購入の促進に取り組めます。
- 7 地域社会の一員として、地域社会活動に貢献していきます。
- 8 社員教育を定期的に行い、環境保全に対する知識を高めていきます。

上記の環境方針は、一般に公開致します。

制定年月日 平成19年10月 1日  
改定年月日① 平成20年10月25日  
改定年月日② 平成23年 5月23日  
改定年月日③ 平成28年 6月 1日

山本リサイクル株式会社  
代表取締役 山本 大

## 事業活動概要

### (1) 事業所名及び代表者名

山本リサイクル株式会社  
代表取締役 山本 大

### (2) 事業所の所在地

本社 〒432-8047 静岡県浜松市中央区神田町758  
浜松作業所 〒432-8058 静岡県浜松市中央区新橋町2311  
菊川工場 〒439-0031 静岡県菊川市加茂1300-25  
湖西工場 〒431-0451 静岡県湖西市白須賀字宿北4380-8  
相良工場 〒421-0502 静岡県牧之原市白井1111  
認証登録範囲：浜松作業所・菊川工場・湖西工場・相良工場

### (3) 環境保全関係の責任者及び連絡先

責任者 環境・安全管理責任者 野口 晶広  
連絡先 TEL 053-444-4517 FAX 053-441-7130

### (4) 事業内容

鉄及び非鉄金属の回収・加工・販売 対象範囲 浜松作業所・菊川・湖西  
産業廃棄物収集運搬業 対象範囲 相良  
廃自動車解体業 対象範囲 相良

### (5) 事業規模

沿革 平成13年3月16日創立  
資本金 1962.5 (万円)

活動規模	単位	22期(2022年度)	23期(2023年度)	24期(2024年度)
処理量	t	44,594.47	48,248.53	50,710.59
従業員	人	41	40	47
敷地面積(浜松)	m <sup>2</sup>	5,819.48	5,819.48	5,819.48
敷地面積(菊川)	m <sup>2</sup>	7,135.00	7,135.00	7,135.00
敷地面積(湖西)	m <sup>2</sup>	4,147.02	4,147.02	4,147.02
敷地面積(相良)	m <sup>2</sup>	1,776.42	1,776.42	1,776.42
売上高	万円	291,482.00	276,622.00	305,296.00

※ 処理量は浜松・菊川・湖西の各工場の取扱量の合計です。

### (6) 許可の内容

	許可・交付・登録内容	許可番号	許可・交付年月日	有効年月日
静岡県知事	使用済自動車引取業	第20221602244号	平成28年11月11日	令和8年11月10日
静岡県知事	使用済自動車解体業	第20223602244号	平成28年11月11日	令和8年11月10日
静岡県知事	使用済自動車フロン類回収業	第20222602244号	平成28年11月11日	令和8年11月10日
静岡県知事	産業廃棄物収集運搬	第02211097419号	令和4年8月13日	令和9年8月12日

#### 【取扱う産業廃棄物】：

- ・ 廃プラ類(※1)、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、汚泥、廃油、紙くず、木くず、繊維くず 以上積替・保管を除く
- ・ 廃プラ類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(※2) 以上積替・保管含む  
積替保管の場所：静岡県牧之原市蛭ヶ谷字大沢535-1  
積替保管場所面積：36.50m<sup>2</sup> 保管上限：59.30m<sup>3</sup> 保管上限高さ：3.25 m

※1 石綿含有廃棄物を除く

※2自動車リサイクル法対象外の廃自動車に限る

### (7) 所有設備

機種	22期(2022年度)	23期(2023年度)	24期(2024年度)
大型ダンプ(収集運搬車両)	10台	10台	10台
キャブオーバー(収集運搬車両)	12台	12台	11台
バン(収集運搬車両)	2台	2台	3台
脱着装置付コンテナ専用車(収集運搬車両)	2台	2台	2台
重機	10台	10台	10台
フォークリフト	19台	19台	20台

### (8) 産業廃棄物収集運搬業 情報公開項目

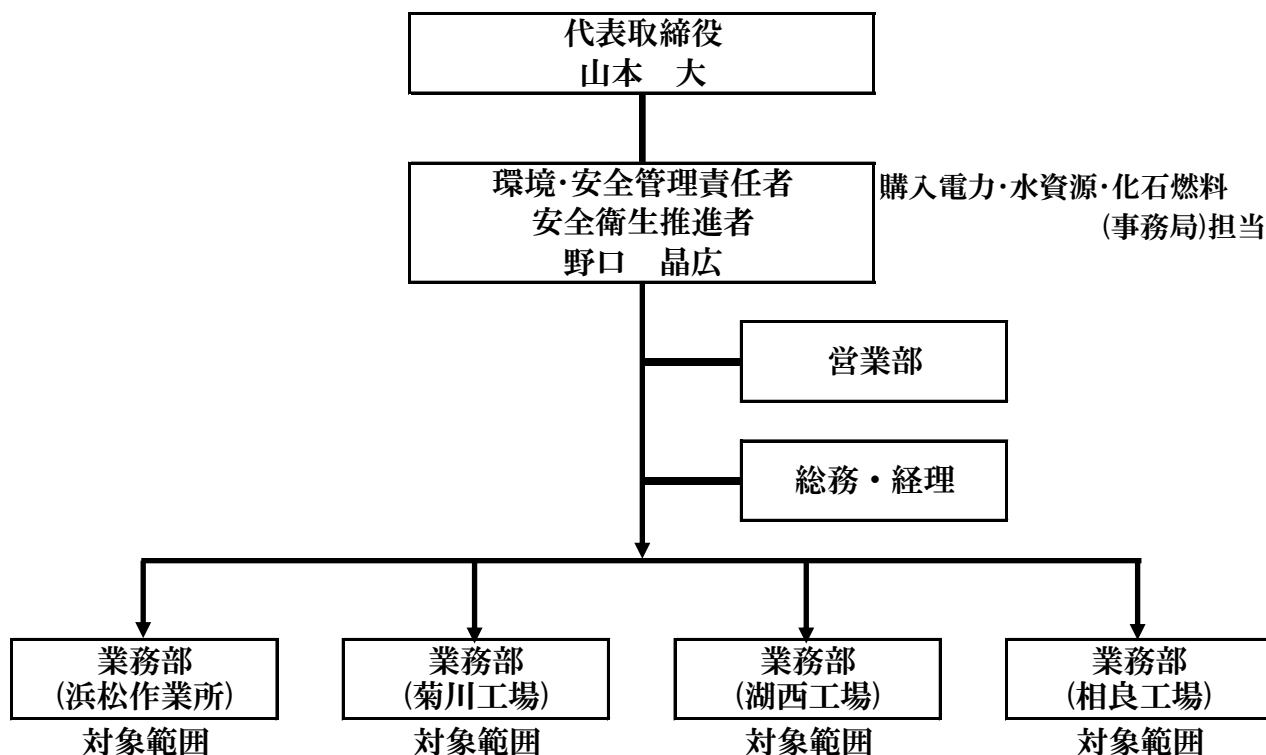
①法人設立年月日、資本金、売上高、組織図：(5)及び組織図及び実施体制図に示す。

②許可の内容、施設等の状況処理実績：(6)、(7)に示す。

受託産業廃棄物の処理量：受託した産業廃棄物は相良工場における廃自動車のみ。  
処理量は1,491台(浜松・湖西・菊川では処理実績は無し。)

# 組織図及び実施体制

## エコアクション2.1組織図



職名	役割・責任・権限
社長	環境方針の策定 環境・安全管理責任者の指名 資源の用意 環境経営システムの見直し 従業員への周知(研修会)
環境・安全管理責任者	環境経営システムの構築・運用 環境目標・環境活動計画の策定 データの収集・文書の作成・管理 社長への状況・実績の報告
各部	各現場での運用・管理・記録 教育・訓練の実施

※上記組織及び実施体制は、2025年6月現在のものです。

## 環境目標の設定及び環境活動計画の策定

環境・安全管理責任者は、環境方針及び環境への負荷自己チェック・環境への取組自己チェックの結果を踏まえて具体的な環境目標及び環境活動計画を策定し、社長の決裁を得る。

環境目標及び環境活動計画は毎年5月に見直しを行い、6月の研修会ですべての従業員に周知する。

### 環境目標

今後、売上高及び総製品生産量当りの二酸化炭素排出量・水使用量・一般廃棄物排出量・産業廃棄物排出量を前年度を基準として、それぞれの目標を下記の通り定める。また、一般廃棄物及び産業廃棄物については排出量の削減とともにリサイクル率の向上を目指す。

#### 全体

項目	単位	基準値	2023年度	目標	2024年度	目標値
環境配慮項目(車両燃費)	k m/ℓ		3.52	+0.3%		3.53
二酸化炭素排出量	kg-CO2		609,896.68	-1%		603,797.71
水使用量	m <sup>3</sup>		176.60	-1%		174.83
一般廃棄物排出量	kg		1,215.66	-1%		1,203.50
産業廃棄物排出量	t		68.08	-1%		67.40

#### 浜松

項目	単位	基準値	2023年度	目標	2024年度	目標値
環境配慮項目(車両燃費)	k m/ℓ		3.48	+0.3%		3.49
二酸化炭素排出量	kg-CO2		514,693.81	-1%		509,546.87
(総製品生産量当り)	kg-CO2/t		73.85	-1%		73.11
一般廃棄物排出量	kg		556.3	-1%		550.7
産業廃棄物排出量	t		0.41	-		0.41
(総製品生産量当り)	kg/t		0.06	-		0.06
会社周辺の清掃活動	回		3	-		3

#### 菊川

項目	単位	基準値	2023年度	目標	2024年度	目標値
環境配慮項目(車両燃費)	k m/ℓ		3.55	+0.3%		3.56
二酸化炭素排出量	kg-CO2		67,027.71	-1%		66,357.43
(総製品生産量当り)	kg-CO2/t		5.50	-1%		5.45
水使用量	m <sup>3</sup>		38.00	-1%		37.62
(総製品生産量当り)	ℓ/t		3.12	-1%		3.09
一般廃棄物排出量	kg		112.6	-1%		111.47
産業廃棄物排出量	t		1.84	-1%		1.82
(総製品生産量当り)	kg/t		0.15	-		0.15
会社周辺の清掃活動	回		3	-		3

#### 湖西

項目	単位	基準値	2023年度	目標	2024年度	目標値
二酸化炭素排出量	kg-CO2		3,664.99	-1%		3,628.34
(総製品生産量当り)	kg-CO2/t		0.126	-1%		0.125
水使用量	m <sup>3</sup>		104.00	-1%		102.96
(総製品生産量当り)	ℓ/t		3.57	-1%		3.53
一般廃棄物排出量	kg		66.78	-1%		66.11
産業廃棄物排出量	t		18.23	-1%		18.05
(総製品生産量当り)	kg/t		0.62	-1%		0.61
会社周辺の清掃活動	回		5	-		3

#### 相良

項目	単位	基準値	2023年度	目標	2024年度	目標値
二酸化炭素排出量	kg-CO2		24,510.17	-1%		24,265.07
(廃自動車1台当り)	kg-CO2/台		22.54	-1%		22.31
水使用量	m <sup>3</sup>		34.60	-1%		34.25
(稼働日数当り)	ℓ/日		141.80	-1%		140.38
一般廃棄物排出量	kg		480.00	-		480.00
産業廃棄物排出量	t		47.60	-1%		47.12
(廃自動車1台当り)	kg/台		43.79	-1%		43.35
会社周辺の清掃活動	回		3	-		3

菊川・湖西・相良の購入電力CO2排出係数は、中部電力の2023年度調整後排出係数(0.382kg-CO2/kWh)を使用

中長期目標

全体

項目	単位	2023年度実績 基準年	2025年度 目標値	2026年度 目標値	2027年度 目標値
環境配慮項目(車輛燃費)	k m/ℓ	3.52	+0.1%	+0.2%	+0.3%
二酸化炭素排出量	kg-CO2	609,896.68	-0.5%	-0.75%	-1%
水使用量	m <sup>3</sup>	176.60	-0.5%	-0.75%	-1%
一般廃棄物排出量	kg	1,215.66	-0.5%	-1%	-1.5%
産業廃棄物排出量	t	68.08	-0.5%	-1%	-1.5%

浜松

項目	単位	2023年度実績 基準年	2025年度 目標値	2026年度 目標値	2027年度 目標値
環境配慮項目(車輛燃費)	k m/ℓ	3.48	+0.1%	+0.2%	+0.3%
二酸化炭素排出量	kg-CO2	514963.81	-0.5%	-0.75%	-1%
(総製品生産量当り)	kg-CO2/ t	73.85	-0.5%	-0.75%	-1%
一般廃棄物排出量	kg	556.28	-0.5%	-1%	-1.5%
産業廃棄物排出量	t	0.41	-0.5%	-1%	-1.5%
(総製品生産量当り)	kg/ t	0.059	-0.5%	-1%	-1.5%
会社周辺の清掃活動	回	3	3	3	3

菊川

項目	単位	2023年度実績 基準年	2025年度 目標値	2026年度 目標値	2027年度 目標値
環境配慮項目(車輛燃費)	k m/ℓ	3.55	+0.1%	+0.2%	+0.3%
二酸化炭素排出量	kg-CO2	67,027.71	-0.5%	-0.75%	-1%
(総製品生産量当り)	kg-CO2/ t	5.50	-0.5%	-0.75%	-1%
水使用量	m <sup>3</sup>	38.00	-0.5%	-0.75%	-1%
(総製品生産量当り)	ℓ/ t	3.12	-0.5%	-0.75%	-1%
一般廃棄物排出量	kg	112.60	-0.5%	-1%	-1.5%
産業廃棄物排出量	t	1.84	-0.5%	-1%	-1.5%
(総製品生産量当り)	kg/ t	0.15	-0.5%	-1%	-1.5%
会社周辺の清掃活動	回	3	3	3	3

湖西

項目	単位	2023年度実績 基準年	2025年度 目標値	2026年度 目標値	2027年度 目標値
二酸化炭素排出量	kg-CO2	3,664.99	-0.5%	-0.75%	-1%
(総製品生産量当り)	kg-CO2/ t	0.126	-0.5%	-0.75%	-1%
水使用量	m <sup>3</sup>	104.00	-0.5%	-0.75%	-1%
(総製品生産量当り)	ℓ/ t	3.57	-0.5%	-0.75%	-1%
一般廃棄物排出量	kg	66.78	-0.5%	-1%	-1.5%
産業廃棄物排出量	t	18.23	-0.5%	-1%	-1.5%
(総製品生産量当り)	kg/ t	0.62	-0.5%	-1%	-1.5%
会社周辺の清掃活動	回	5	3	3	3

相良

項目	単位	2023年度実績 基準年	2025年度 目標値	2026年度 目標値	2027年度 目標値
二酸化炭素排出量	kg-CO2	24,510.17	-0.5%	-0.75%	-1%
(廃自動車1台当り)	kg-CO2/台	22.54	-0.5%	-0.75%	-1%
水使用量	m <sup>3</sup>	34.60	-0.5%	-0.75%	-1%
(稼働日数当り)	ℓ/日	141.80	-0.5%	-0.75%	-1%
一般廃棄物排出量	kg	480.00	-0.5%	-1%	-1.5%
産業廃棄物排出量	t	47.60	-0.5%	-1%	-1.5%
(廃自動車1台当り)	k g/台	43.79	-0.5%	-1%	-1.5%
会社周辺の清掃活動	回	3	3	3	3

山本サイクル(株)環境活動計画

1. 二酸化炭素排出量の削減

① 購入電力の削減

昼休み等、不必要な部分の照明はこまめに消灯・減灯する
空調はこまめにフィルター掃除をし、適正温度(冷房28℃、暖房22℃)に設定する
空調だけに頼らず、扇風機・ハロゲンヒーター・膝毛布等を利用する
OA機は節電モードに切り替え、不必要時には電源を切る
ブラインド・窓をこまめに調整して、自然光・自然風を利用する
省エネルギー型の電化製品・電球にする(購入もしくは、買い替え時)
環境に配慮した物品(グリーン購入)の購入の検討
製品生産時において、無駄な電力の使用をなくす

② 化石燃料の削減

車両のタイヤ空気圧を適正に保ち、定期点検時には必要に応じてローテーションを行う
エンジンオイル・エレメント交換を定期点検時に確実に実行し燃費向上に努める
1現場1ルートではなく、複数現場1ルートを心掛ける。また遠方の現場は高速道路を使用し、燃費向上に努める
定量積載走行を意識し、運搬回数を減らす。ただし過積載はしない
法令速度遵守・オートクルーズの有効活用(高速道路走行時)
車両・重機は日頃の点検・整備、アイドリングストップを心掛ける
車両の相乗りを心掛ける
自然風を利用し、車両のエアコンの使用を極力避ける
無意味な空ぶかし・急発進・急ブレーキをしない
デジタルタコグラフの結果・記録を従業員に配布し、無駄をなくす為の案を指示し、化石燃料の無駄使いがないよう徹底させる(エコドライブの徹底)
燃費向上の為の講習会への参加(メーカーなどが実施する講習会を利用)
定期的に管理者が同乗し、必要に応じて指導・面接を行う

2. 水資源使用量の削減

こまめに蛇口を閉め、節水意識を高める
水道・洗濯機がある所に水漏れがないか、各月で確認する
ほこり防止等での散水は極力さける
井戸水の利用を推進する
無駄な洗濯機の使用を避ける
ガス溶断・散水用にドラム缶を屋外に設置し、雨水の利用を心掛ける

3. 一般・産業廃棄物排出量の削減

コピー用紙は外部提出以外はストックして再利用する
お弁当・MY箸・水筒持参を心掛け、食事時におけるゴミの量を減らす
廃棄物の分別・リサイクルを徹底する
スキャナーを利用し、無駄なコピー用紙の使用を避ける
金属屑の引取り・回収・荷受の際に、付着しているゴミは前もってはずしてもらるか、持ち帰ってもらい、リサイクルBOXの年間利用回数を減らす

4. 浜松工場における購入電力・化石燃料・水使用量・活動について

ハマツタル加工(協)の定める削減事項に協力する
避難訓練・緊急事態への訓練は合同で行う

5. 共通

油水分離槽のチェックを毎日行う
新入社員入社時に環境活動計画の教育・指導

ハマツメタル加工(協)環境活動計画

1. 二酸化炭素排出量の削減

① 購入電力の削減

昼休み及び不必要な部分の照明はこまめに消灯し極力自然光を利用する  
空調はこまめにフィルターを掃除し、適正温度(冷房28℃、暖房22℃)に設定する  
OA機は節電モードに切り替え、不使用時にはこまめに電源を切る  
電化製品購入時には省エネルギー型の製品を選ぶ

② 化石燃料の削減

車両はタイヤの空気圧を適正に保ち、法定速度を守る  
過積載をしない、させない  
車両・重機はこまめにエンジンを切りアイドリングストップを心掛ける

2. 水資源使用量の削減

不必要時にはこまめに蛇口を閉め節水する  
節水器具を取り付ける

3. 一般・産業廃棄物排出量の削減

コピー用紙は両面使用する  
封筒は再利用する  
廃棄物の分別を徹底する  
廃棄物の分別を徹底するリサイクル化への可否の検討

4. 受託した産業廃棄物の適正な処理

無理・無駄な作業をしない、させない

5. 地域社会活動への貢献

会社周辺の清掃活動

6. 太陽光発電量

発電量の取りまとめ

7. 社員教育

作業要領書の作成、周知

注： 浜松作業所はハマツメタル加工組合から電気、水の使用料金込みで借りているため、ハマツメタルと同様の取組を行っていることからここに記載しています。



## 2024年度 環境活動取組計画

取組目標	取組内容	担当者	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
購入電力の削減	こまめに消灯・減灯	西本	運用実施											来期立案
	エアコンの適正温度設定	西本			28℃ 設定	28℃ 設定	28℃ 設定	28℃ 設定			22℃ 設定	22℃ 設定	22℃ 設定	来期立案
	ストップ・扇風機・膝毛布の利用	西本			エアコンに扇風機の併用 なるべく使用しない						エアコンにストップ・膝毛布の併用 なるべく使用しない			来期立案
	不必要時電源OFF	木村	運用実施											来期立案
	自然光・風の利用	西本	運用実施											来期立案
	省エネ製品の購入・買換え	江間	検討実施											来期立案
	グリーン購入の検討	江間	検討実施											来期立案
	製品生産時の無駄な電力削減	藤森	運用実施											来期立案
化石燃料の削減	タイヤ適正空気圧・ローテーション	鈴木	運用実施											来期立案
	オイル交換等の実施	鈴木	運用実施											来期立案
	複数現場1ルート・高速道路使用	木村	運用実施											来期立案
	定量積載走行・過積載しない	木村	運用実施											来期立案
	法定速度遵守・オートクルーズ使用	木村	運用実施											来期立案
	日常点検・アイドリングストップ	木村	運用実施											来期立案
	車輛の相乗り	木村	運用実施											来期立案
	自然風の利用・エアコン使用削減	鈴木	運用実施											来期立案
	急発進・急ブレーキをしない	木村	運用実施											来期立案
	デジタルタコグラフの記録配布・指導	野口	運用実施											来期立案
	燃費向上の為の講習会	野口	運用実施											来期立案
	管理者の同乗	野口	運用実施											来期立案
	水資源使用量の削減	こまめに蛇口閉め	片桐	運用実施										
水漏れの確認		片桐	運用実施 水漏確認	水漏確認	水漏確認	水漏確認	水漏確認	水漏確認	水漏確認	水漏確認	水漏確認	水漏確認	水漏確認	水漏確認
散水の削減		藤森	運用実施											来期立案
井戸水利用推進		藤森	運用実施											来期立案
無駄な洗濯機使用の削減		藤森	運用実施											来期立案
雨水の利用		藤森	運用実施											来期立案
廃棄物搬出量の削減		コピー用紙の再利用	野口	運用実施										
	食事時のゴミ削減	野口	運用実施											来期立案
	スキャナーの利用	野口	運用実施											来期立案
	廃棄物の分別・リサイクルの徹底	野口	運用実施											来期立案
	リサイクルBOXの利用回数削減	野口	運用実施											来期立案
共通	油水分離槽のチェックを毎日行う	野口	運用実施											来期立案
	新入社員へ環境活動計画の指導	野口	運用実施											来期立案

菊川・湖西・相良については少人数の為、全員がすべての項目の担当と意識し運用する。

## 環境活動の取組結果とその評価

### ①取組状況

取組状況として、しっかり取組できていた項目とできていなかった項目と差があったので、できていた項目は継続し、できていなかった項目は今後の毎月行うミーティングの中で、社員への周知・教育を徹底し、環境活動への取組を行っていききたい。

### ②環境活動の実績

#### 全体

項目	単位	2024年度 目標値	2024年度 実績	達成状況
環境配慮項目(車輛燃費)	km/ℓ	3.53	3.16	×
二酸化炭素排出量	kg-CO2	603,797.71	643,115.97	×
一般廃棄物排出量	kg	1,203.50	1,182.16	○
水使用量	m <sup>3</sup>	174.83	174.30	○
産業廃棄物排出量	t	67.40	91.28	×

#### 浜松

項目	単位	2024年度 目標値	2024年度 実績	達成状況
環境配慮項目(車輛燃費)	km/ℓ	3.49	3.02	×
二酸化炭素排出量	kg-CO2	509,546.87	541,515.30	×
(総製品生産量当り)	kg-CO2/ t	73.11	82.60	×
一般廃棄物排出量	kg	550.7	473.7	○
産業廃棄物排出量	t	0.41	3.25	×
(総製品生産量当り)	kg/ t	0.06	0.50	×
会社周辺の清掃活動	回	3	2	×

#### 菊川

項目	単位	2024年度 目標値	2024年度 実績	達成状況
環境配慮項目(車輛燃費)	km/ℓ	3.56	3.47	×
二酸化炭素排出量	kg-CO2	66,357.43	72,943.13	×
(総製品生産量当り)	kg-CO2/ t	5.45	6.26	×
水使用量	m <sup>3</sup>	37.62	43.00	×
(総製品生産量当り)	ℓ/ t	3.09	3.68	×
一般廃棄物排出量	kg	111.47	146.6	×
産業廃棄物排出量	t	1.82	3.29	×
(総製品生産量当り)	kg/ t	0.15	0.28	×
会社周辺の清掃活動	回	3	3	○

#### 湖西

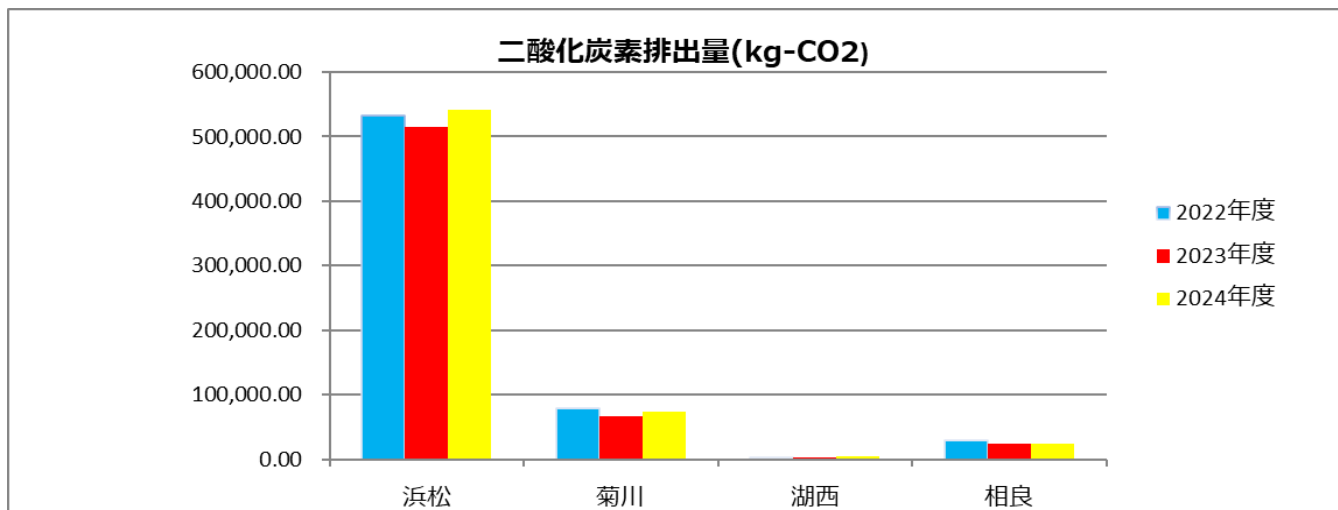
項目	単位	2024年度 目標値	2024年度 実績	達成状況
二酸化炭素排出量	kg-CO2	3,628.34	4,216.11	×
(総製品生産量当り)	kg-CO2/ t	0.12	0.12	○
水使用量	m <sup>3</sup>	102.96	89.00	○
(総製品生産量当り)	ℓ/ t	3.53	2.73	○
一般廃棄物排出量	kg	66.11	81.86	×
産業廃棄物排出量	t	18.05	23.81	×
(総製品生産量当り)	kg/ t	0.61	0.73	×
会社周辺の清掃活動	回	3	3	○

※湖西工場における二酸化炭素排出量は、電力で算出する。

#### 相良

項目	単位	2024年度 目標値	2024年度 実績	達成状況
二酸化炭素排出量	kg-CO2	24,265.07	24,441.43	△
(廃自動車1台当り)	kg-CO2/台	22.31	16.39	○
水使用量	m <sup>3</sup>	34.25	42.30	×
(稼働日数当り)	ℓ/日	140.38	172.65	×
一般廃棄物排出量	kg	480.00	480.00	○
産業廃棄物排出量	t	47.12	60.93	×
(廃自動車1台当り)	kg/台	43.35	40.86	○
会社周辺の清掃活動	回	3	3	○

菊川・湖西・相良の購入電力CO2排出係数は、中部電力の2024年度調整後排出係数(0.393kg-CO2/kWh)を使用



### 浜松

項目	単位	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 実績
車輛燃費	km/ℓ	3.27	3.48	3.02
二酸化炭素排出量 (総製品生産量当り)	kg-CO2	533,123.11	514,693.81	541,515.30
一般廃棄物排出量	kg-CO2/ t	85.23	73.85	82.60
産業廃棄物排出量	kg	548.1	556.3	473.7
産業廃棄物排出量 (総製品生産量当り)	t	-	-	3.25
会社周辺の清掃活動	kg/ t	-	-	0.50
会社周辺の清掃活動	回	3	3	2

### 菊川

項目	単位	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 実績
車輛燃費	km/ℓ	3.61	3.55	3.47
二酸化炭素排出量 (総製品生産量当り)	kg-CO2	78,266.03	67,027.71	72,943.13
水使用量 (総製品生産量当り)	kg-CO2/ t	5.86	5.50	6.26
一般廃棄物排出量	m <sup>3</sup>	41.00	38.00	43.00
産業廃棄物排出量	ℓ/ t	3.07	3.12	3.68
一般廃棄物排出量	kg	127.8	112.6	146.6
産業廃棄物排出量 (総製品生産量当り)	t	2.85	1.84	3.29
会社周辺の清掃活動	kg/ t	0.21	0.15	0.28
会社周辺の清掃活動	回	4	3	3

### 湖西

項目	単位	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 実績
二酸化炭素排出量 (総製品生産量当り)	kg-CO2	3,574.51	3,664.99	4,216.11
水使用量 (総製品生産量当り)	kg-CO2/ t	0.143	0.126	0.120
一般廃棄物排出量	m <sup>3</sup>	85.00	104.00	89.00
産業廃棄物排出量	ℓ/ t	3.40	3.57	2.73
一般廃棄物排出量	kg	89.00	66.78	81.86
産業廃棄物排出量 (総製品生産量当り)	t	23.22	18.23	23.81
会社周辺の清掃活動	kg/ t	0.93	0.62	0.73
会社周辺の清掃活動	回	5	5	3

※湖西工場における二酸化炭素排出量は、電力・LPGで算出する。

### 相良

項目	単位	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 実績
二酸化炭素排出量 (廃自動車1台当り)	kg-CO2	29,565.25	24,510.17	24,441.43
水使用量 (稼働日数当り)	kg-CO2/台	17.97	22.54	16.39
一般廃棄物排出量	m <sup>3</sup>	41.90	34.60	42.30
産業廃棄物排出量 (廃自動車1台当り)	ℓ/日	171.72	141.80	172.65
一般廃棄物排出量	kg	-	-	480.00
産業廃棄物排出量 (廃自動車1台当り)	t	53.12	47.60	60.93
会社周辺の清掃活動	kg/台	32.29	43.79	40.86
会社周辺の清掃活動	回	3	3	3

2022年度;購入電力CO2排出係数は、中部電力の令和3年度調整後排出係数(0.377kg-CO2/kWh)を使用  
 2023年度;購入電力CO2排出係数は、中部電力の令和4年度調整後排出係数(0.382kg-CO2/kWh)を使用  
 2024年度;購入電力CO2排出係数は、中部電力の令和4年度調整後排出係数(0.393kg-CO2/kWh)を使用

取組結果の評価と次年度の取組

取組結果の評価（浜松）

項目	評価	次年度の取組内容
二酸化炭素排出量	<p>二酸化炭素排出量においては、総排出量・総製品生産量当りともに達成する事ができませんでした。</p> <p>また、環境配慮項目である車輛燃費も悪化となりました。スクラップの出荷作業を庸車から自社便に切り替えた為、燃費の悪いダンプ車両の使用頻度が増加した事が原因と考えます。今後も引き続き、燃費の良い車両へ定期的買い替えを行い、燃費向上に努めていきたい。</p> <p>また、燃費向上運転の講習会の再開・管理者同乗による個人指導や安全運転研修を行い、更なる燃費向上にを目指していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・燃費向上運転の講習会</li> <li>※エアコン使用の増加が考えられる6月下旬～7月上旬に行う</li> <li>・運転技術の個人面談</li> <li>・同乗による個人指導</li> </ul>
一般廃棄物排出量	<p>一般廃棄物排出量は、今年度削減達成となりました。</p> <p>来年度も目標値を達成できるよう、環境活動計画の見直しと周知・徹底を行っていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミーティング時において、廃棄物削減の周知・徹底</li> <li>・ペーパーレス化の推進</li> <li>・取組計画の指導</li> </ul>
産業廃棄物排出量	<p>産業廃棄物排出量は、今年度達成する事ができませんでした。</p> <p>取扱量増加に伴う、混合廃棄物の増加が要因と考えます。</p> <p>来年度は目標値を達成できるよう、環境活動計画の見直しと周知・徹底を行っていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミーティング時において、廃棄物削減の周知・徹底</li> <li>・取組活動強化</li> <li>・取組計画の策定</li> </ul>
会社周辺の清掃活動	<p>来年度も引き続き定期的な清掃活動を行い、地域社会へ貢献を継続していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動データの保存</li> <li>・計画的な清掃活動</li> </ul>

取組結果の評価（菊川）

項目	評価	次年度の取組内容
二酸化炭素排出量	<p>二酸化炭素排出量において、排出量・総製品生産量当りともに目標を達成する事ができませんでした。また車両燃費においても未達成となりました。</p> <p>今後は浜松同様、燃費向上運転の講習会の再開・管理者同乗による個人指導や安全運転研修を行い、燃費向上にを目指していく。</p> <p>また、定期的な車両の入れ替え、燃費の良いオートマチック車の導入を継続して行い、燃費向上・化石燃料使用量削減に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・燃費向上運転の講習会</li> <li>※エアコン使用の増加が考えられる6月下旬～7月上旬に行う</li> <li>・運転技術の個人面談</li> <li>・同乗による個人指導</li> </ul>
水使用量	<p>水使用量は使用量、総製品生産量当りともに達成する事ができませんでした。</p> <p>従業員増員に伴う、水使用量の増加と考えます。</p> <p>来年度は新入社員を含めた従業員全員へ取り組み活動を周知徹底し、削減活動に努めていきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組活動指導</li> <li>・水使用量削減表示</li> </ul>
一般廃棄物排出量	<p>一般廃棄物排出量は、目標値を達成することができませんでした。</p> <p>従業員増員に伴う、増加と考えます。</p> <p>来年度は新入社員を含めた従業員全員へ取り組み活動を周知徹底し、削減活動に努めていきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミーティング時において、廃棄物削減の周知・徹底</li> <li>・ペーパーレス化の推進</li> <li>・取組計画の指導</li> </ul>
産業廃棄物排出量	<p>産業廃棄物排出量は、排出量・総製品生産量当りともに目標数値を達成する事ができませんでした。</p> <p>浜松同様、取扱量増加に伴う、混合廃棄物の増加が要因と考えます。</p> <p>来年度は目標値を達成できるよう、環境活動計画の見直しと周知・徹底を行っていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミーティング時において、廃棄物削減の周知・徹底</li> <li>・取組活動強化</li> <li>・取組計画の策定</li> </ul>
会社周辺の清掃活動	<p>来年度も引き続き定期的な清掃活動を行い、地域社会へ貢献を継続していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動データの保存</li> <li>・計画的な清掃活動</li> </ul>

取組結果の評価（湖西）

項目	評価	次年度の取組内容
二酸化炭素排出量	<p>二酸化炭素排出量においては総排出量は目標未達成となったが、総製品生産量当りは達成する事ができました。</p> <p>工場の稼働日数増加と、従業員増員と伴う増加と考えます。</p> <p>しかしながら、稼働日数増加・従業員増加の中で、総製品生産量当り達成する事ができた事は評価したい。</p> <p>来年度も引き続き、従業員全員が電気使用量削減の意識をもって削減に努めたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・燃費向上運転の講習会</li> <li>※エアコン使用の増加が考えられる6月下旬～7月上旬に行う</li> <li>・運転技術の個人面談</li> <li>・同乗による個人指導</li> <li>・取組内容の周知</li> <li>・取組内容の表示</li> </ul>
水使用量	<p>水使用量においては使用量、総製品生産量当りともに達成する事ができました。</p> <p>来年度も引き続き、目標値を達成できるよう取組活動を周知し、水使用量削減に努めていきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組活動指導</li> <li>・水使用量削減表示</li> </ul>
一般廃棄物排出量	<p>一般廃棄物排出量は前年度の倍になり目標値を達成することができませんでした。</p> <p>来年度は目標値を達成できるよう環境活動計画の再周知と取組計画の指導を行っていきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミーティング時において、廃棄物削減の周知・徹底</li> <li>・取組内容の周知</li> <li>・目標達成のための指導</li> </ul>
産業廃棄物排出量	<p>産業廃棄物排出量は、排出量・総製品生産当たりともに目標数値を達成する事ができませんでした。</p> <p>浜松・菊川同様、取扱量増加に伴う、混合廃棄物の増加が要因と考えます。</p> <p>来年度は目標値を達成できるよう、環境活動計画の見直しと周知・徹底を行っていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミーティング時において、廃棄物削減の周知・徹底</li> <li>・取組内容の策定</li> </ul>
会社周辺の清掃活動	<p>来年度も引き続き定期的な清掃活動を行い、地域社会へ貢献を継続していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動データの保存</li> <li>・計画的な清掃活動</li> </ul>

## 取組結果の評価（相良）

項目	評価	次年度の取組内容
二酸化炭素排出量	<p>二酸化炭素排出量においては総排出量は微増、廃自動車1台当りにおいては目標値を達成、前年度よりも効率的に作業を行う事ができました。</p> <p>来年度以降も、重機使用時はエコモードの使用や必要以上に暖機運転をしない事や不必要な旋回作業の削減など無駄な重機の操作や作業を減らし、化石燃料削減に努めていきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エアコン設定温度の取組強化</li> <li>・取組活動指導</li> <li>・不必要時スイッチOFFの強化</li> <li>・こまめにアイドリングストップ</li> </ul>
水使用量	<p>水使用量は使用量、総製品生産量当りともに達成する事ができませんでした。</p> <p>従業員増員に伴う、水使用量の増加と考えます。</p> <p>来年度は新入社員を含めた従業員全員へ取り組み活動を周知徹底し、削減活動に努めていきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組活動指導</li> <li>・水使用量削減表示</li> </ul>
産業廃棄物排出量	<p>産業廃棄物排出量においては総排出量は未達成でしたが、廃自動車1台当りは目標数値を達成する事ができました。</p> <p>来年度は総排出量の目標値も達成できるよう引き続き産業廃棄物削減に努めていきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミーティング時において、廃棄物削減の周知・徹底</li> <li>・取組活動強化</li> <li>・取組計画の策定</li> </ul>
会社周辺の清掃活動	<p>今年度は取引先との合同清掃活動に参加することができました。来年度も合同清掃活動に参加し地域社会へ貢献していきたい。</p>	

### 代表者による全体評価と見直し

まずは、エコアクションに携わり、取り組みやご協力をして頂いている関係者の皆様に御礼申し上げます。

お客様の中には、このエコアクションを推奨し、案内を出されている所もあり、また、金融機関の中には、SDG S関連・カーボンニュートラル対応における融資を行う制度を作って推奨するなど、環境負荷軽減のための具体的な制度や方策が年々整備されてきている事を実感しています。引き続き、エコアクション21を通して、対応をしていきたいと考えております。

今期は目標達成項目が少なかった内容となりました。

目標未達成の項目については、各工場責任者が細かく原因を追及し、来期はすべての項目を達成できるよう、今一度マニュアルを見直す必要があると考えます。また、より良い取組活動計画や達成に向けて、情報の収集や横展開を4工場間で行ってほしい。

今後も環境活動について削減の意識が低下しないよう、そして浜松工場・菊川工場・湖西工場・相良工場ともに、達成出来る数値よりも少し良い数値を目標として、目指していきたいので、今回は環境方針は変更の必要性はないと判断する。

2025年7月11日  
山本リサイクル株式会社  
代表取締役社長 山本 大

環境関連法令の取りまとめ

法律等の名称	適用内容	対応	遵守状況	
自動車NOX・PM法	事業者 大都市圏での車種規制	自動車NOX・PM法適合車の検討・購入	○	
騒音規制法	事業者 特定施設の届出	空気圧縮機(7.5kw以上)の届出	○	
振動規制法	事業者 特定施設の届出	圧縮機(7.5kw以上)の届出	○	
静岡県生活環境の保全等に関する条例	事業者 特定施設の届出	空気圧縮機(3.75kw以上)の届出	○	
廃棄物処理法	(排出者)	紙マニフェスト	紙マニフェストの交付・保存(5年間)	○
		” 交付状況等報告	毎年6月末までに前年度交付分を報告	○
		電子マニフェスト	電子マニフェストの登録(情報処理センター)	○
		委託基準の遵守	契約書の締結、許可証、有効期限の確認	○
	(処理業者)	紙マニフェスト	紙マニフェストの回付・保存(5年間)	○
		電子マニフェスト	電子マニフェスト運搬終了報告	○
		収集運搬の基準の遵守	車両への表示・保管基準遵守	○
(浜松市・静岡県)産業廃棄物の適正な処理に関する条例	(排出者)	産業廃棄物管理責任者	事業場ごとに設置、報告(浜松市)	○
		処理委託先の実地確認	受託業者施設への実地確認 記録の5年保存	○
	(処理業者)	処理状況の報告(静岡県は保管のみ)	前年度1年間の処理状況を報告	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行細則(静岡県規則第63号)	(処理業者) 運搬実績の報告	前年度1年間の運搬実績を報告	○	
浜松市廃棄物の減量及び資源化並びに適正処理等に関する条例	事業者	事業者の責務	一般廃棄物の適正処理	○
		廃棄物の減量及び資源化	製品の製造、加工、販売等における廃棄物の減量及び資源化	○
家電リサイクル法	(処理業者) 廃棄物処理法の特例	一廃、産廃収運業者は特定家電の収集運搬可	○	
自動車リサイクル法	(引取業)	引取業の登録・更新、フロン類引渡し義務	○	
	(フロン回収)	登録及び許可	フロン回収業の登録・更新、フロンの引渡し義務	○
	(解体業)	解体業の許可・更新、エアバッグ引渡し義務	○	
フロン排出抑制法	事業者	業務用エアコンの点検	★簡易点検 1回/3月程度目視点検 ★定期点検 定格出力7.5～50kW:1回/3年 定格出力50kW以上:1回/年	○
		記録・保存	点検、修理の記録を保存(廃棄後3年間)	○
		設置の届出	届出	○
浄化槽法	事業者	浄化槽の管理	法定検査(1回/年水質検査) 浄化槽管理者の義務(保守点検、清掃)	○
		収集運搬車両の点検	車検、法定点検の実施・確認	○
道路運送車両法	事業者	過積載防止	計量表、計量伝票での確認	○
労働安全衛生法	事業者	車両系建設機械・フォークリフト	自主点検及び法定点検の実施	○
大気汚染防止法	事業者	石綿含有建材調査	建築物等の解体等を行う前に実施する石綿含有建材の調査の確認	○

チェック年月日 2025年7月1日 担当 野口

環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当事業所に適用される環境関連法規への違反はありませんでした。

関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。